

●がん登録（がん登録部会）

めざす姿	■最終目標 がん患者ががん登録データを活用した質の高いがん医療を受けることができる。 ■中間目標 医療従事者等が精度が向上したがん登録データを有効活用できる体制整備が進んでいる。
個別施策	・がん登録の精度向上 ・がん登録データ等を活用したがん対策の検討・実施 ・データを活用した情報提供等
平成30年度 取組	1. 新 ならのがん医療見える化推進事業 2. がん登録推進事業 ①がん登録担当者研修会の開催（9月2日実施） ②「奈良県のがん登録2014年・2015年」報告書作成、公表 ③がん登録情報の利用・提供に向けた奈良県事務処理要領、利用規約等の検討 ④がん登録情報利用等審議部会の設置（2月21日実施）
平成31年度 計画（案）	1. がん登録推進事業 ①がん登録担当者研修会の開催（年1回） ＊がん診療連携協議会がん登録分科会と連携して実施 ②「奈良県のがん登録2016年」報告書作成、公表 ③がん登録情報利用等審議部会の開催

■がん登録担当者研修会

●目 的

平成31年1月から「がん登録情報の提供」が開始されることに伴い、制度の理解を深めることで積極的なデータの利活用が期待されている。全国がん登録担当者を対象に、全国がん登録の現状、制度の概要、がん登録情報の利活用などの実務的な研修会を実施することで、全国がん登録の精度向上、データの利活用によるがん研究及びがん対策のさらなる進展を目指す。

●対象者

県内病院及び全国がん登録指定診療所の担当者 等

●内 容

日 時・場 所	内 容 ・ 講 師	参加者
平成30年9月2日（日） 13：30～17：00 奈良県立医科大学 蔵書会館 3階 大ホール	報告「全国がん登録のデータ入力について」 奈良県福祉医療部医療政策局疾病対策課 浦野 知子 ・第1部 講演「全国がん登録情報の効果的な活用について」 国立がん研究センターがん対策情報センター がん登録センター全国がん登録室 室長 松田 智大氏 ・第2部 講演「造血器腫瘍について」 奈良県立医科大学附属病院 腫瘍センター センター長 病院教授 神野 正敏氏 奈良県立医科大学附属病院 放射線治療・核医学科 教授 長谷川 正俊氏	29名 (22機関)

●概 要

- ・平成28年1月から全国がん登録のデータ収集が始まったが、届出データの精度向上に向けて、よくある間違いについて説明し、注意喚起を行った。
- ・平成31年1月から全国がん登録（2016年症例）のデータ提供が開始されることに伴い、データ利用の手続き方法や、データ利用の流れについて説明。また、今回の対象者が院内がん登録担当者ということもあり、院内がん登録のデータ利用についてもご講演いただき、がん登録データの活用の意義について理解を深めた。
- ・参加者アンケートの結果では、約80%が「参考になった」と回答していた。
- ・自由記載欄では、「がん登録に関して正確に入力しようと思った」など、データ利用に向けての精度向上に関するご意見や、また、「事前に質問を収集し、講演の中で解説をしてほしい」等のご意見もあり次年度の研修会の方法についても検討する必要があると感じた。

